

News Release

2026.01.23

阪急阪神ホールディングス株式会社

広報室 広報部

〒530-0012

大阪市北区芝田一丁目16番1号

Tel:06-6373-5092 Fax:06-6373-5670

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

阪急阪神ホールディングスグループ

サステナビリティ宣言

～暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

阪急阪神ホールディングスと沿線6大学の学生との共創プロジェクト 「環境問題の自分ゴト化」をテーマにした 4種類のポスターを制作しました

2026年1月23日(金)から阪急電車・阪神電車で掲出

阪急阪神ホールディングスは、2025年10月から12月にかけて、阪急電鉄・阪神電気鉄道の沿線にある6大学（大阪大学、関西大学、関西学院大学、神戸大学、武庫川女子大学、立命館大学）の学生と共創し、「環境問題の自分ゴト化」をテーマとしたポスターを制作するプロジェクトを実施しました。2026年1月23日（金）から順次、完成した4種類のポスターを「阪急阪神全線カーボンニュートラル運行記念ラッピング列車」などで掲出します。

本プロジェクトでは、学生ならではの視点を活かし、環境省が推進する「デコ活（※）」のテーマのうち「移動手段」「食べ物」「ファッション」の3つを掘り下げ、環境問題を“自分ゴト化”して考え、行動することを促す4種類のオリジナルポスターを制作しました。約40名の学生が、2か月半にわたって全5回のワークショップに参加し、環境問題について学ぶとともに、“自分ゴト化”の実現に向けたキャッチコピーやデザインの企画立案や制作に、阪急阪神東宝グループの広告代理店である阪急阪神マーケティングソリューションズのクリエイターとともに取り組みました。

（※）二酸化炭素（CO2）を減らす脱炭素（Decarbonization, DE）と、環境に良いエコ（Eco）を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた言葉です。本取組で取り上げた3テーマ以外にも、「毎日の生活」「住まい」「暮らし」「職場や働き方」があります。



「デコ活」の3つのテーマで制作したオリジナルポスター
（左上・右上）移動手段（左下）ファッション（右下）食べ物

■ポスターを制作した学生からのメッセージ

グループ①「移動手段」 大阪大学 経済学部 1年生 おだきさとさん 小田垣陽人さん

「電車通学は脱炭素。意識が変わりました！」



阪急電車で通学しています。電車の CO₂ 排出量が自家用車の約 1/8 で、電車が地球環境にやさしい移動手段であることを知りました。この事実を知ったことで、移動手段として電車を選ぶ人をもっと増やしたいとの思いが、チーム内で強くなりました。通勤・通学の車内で音楽を聴いたり、お気に入りのドリンクを楽しんだりといった「ゆとり時間」を提案することで、電車に乗ろうと思う方が少しでも増えればうれしいです。

グループ②「移動手段」 立命館大学 産業社会学部 3年生 もりもとれみさん 森元怜美さん

「これからも、阪急電車・阪神電車の車窓から四季を感じたい」

行き先は、
四季がちゃんと
巡る街。

いつからだろう、
こんなに夏が長くなって、
春や秋が短くなったのは、
慣れ親しんだはずの季節が
実はすっかり変化している。

だから、わたしは電車を選ぶ。
他の移動手段じゃなくて、
地球にやさしい選択で
四季を守り、残したいから。

また、いつもの駅で
春めく草花の香りに満たされますように。
澄んだ秋風に吹かれる季節が
巡ってきますように。



2025年の新語・流行語大賞に「二季」がノミネートされるほど、地球温暖化の影響で年々春や秋が短くなり、はっきりとした「四季」を感じにくくなっています。そんな現状に対して、普段何気なく電車に乗ることも、実は環境に配慮した行動であり、未来の「四季」を守ることにつながる——その想いをポスターに込めました。私自身も、電車の車窓から、これからも四季の変化を感じたいと願っています。

グループ③「ファッション」 神戸大学 国際人間科学部 3年生 めのうらさん 布浦ことのさん

「自分の好きを大切にしてほしい！」



ワークショップのディスカッションを通じて、服の大量廃棄が社会課題となっているにも関わらず、私たちが必要以上に服を買ってしまうのは、人の目を意識する他人軸の生き方が影響していることに気づきました。流されすぎず、自分の好きな服を「愛着」を持って大切に着る。「愛を着る」という自分軸の服選びが環境問題の解決につながることをぜひ知っていただきたいです。

グループ④「食べ物」 関西学院大学 人間福祉学部 3年生 ^{うえはらあい} 上原愛さん
 「フードロス意識によって解決できます！」



このワークショップを機に、私自身、食べ残しをしないよう心がけるようになりました。また、そうした心がけを私から積極的に発信するようになり、家族や友達も意識してくれるようになりました。言葉だけが一人歩きしているフードロス問題を、私たちが考えた“「とりあえず・・・」で注文しすぎてない？”というキャッチコピーで、“自分ゴト化”してもらえればうれしいです。

■ポスターの掲出について

【掲出期間】 2026年1月23日（金）から順次

【掲出場所】 阪急電車・阪神電車の「阪急阪神全線カーボンニュートラル運行記念ラッピング列車」の車内中吊りなど



阪急阪神全線カーボンニュートラル運行記念ラッピング列車（左）阪急電車（右）阪神電車

以 上

【ニュースリリース配付先】 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ ほか

■ワークショップの様子

・「環境の専門家による講義で課題と目標を明確化」

本プロジェクトの第1回目のワークショップでは、学生たちは、環境省脱炭素ライフスタイル推進室のご担当者による環境問題および「デコ活」についての講義を受講しました。その後、「デコ活」のテーマの中から、各自が関心のあるテーマごとにグループに分かれて議論をスタートさせ、各テーマの現状の課題や目指すべきゴールについて、初対面ながらも活発な意見交換を行いました。



・「アイデアの創出から具体化へ」

第2～4回目のワークショップでは、阪急阪神マーケティングソリューションズのコピーライターやデザイナーのアドバイスを受けながら、ポスターの企画立案・制作を進めました。ポスターのコンセプトとして「誰に」「何を伝えるべきか」を考え、また伝えたいメッセージをどのようにデザインやキャッチコピーで表現するかを検討しました。どのグループも、見た人の心に響く表現方法や自分達ならではの伝え方を模索していました。



・「“自分ゴト化”の実現に向けて」

第5回目のワークショップでは、プロジェクトの集大成として、完成したポスターの発表会を開催しました。各グループが「自分ゴト化」の実現に向けて検討したキャッチコピーやデザインの決定までのプロセスをプレゼンテーションしました。発表後には、学生一人ひとりが今回のプロジェクトを通じて得たことや、新たな発見を共有しました。大学や学年を越えて認め合い、高め合う学生たちの姿が印象的なワークショップとなりました。



■阪急阪神全線カーボンニュートラル運行の概要

阪急阪神ホールディングスグループでは、サステナビリティ宣言において「環境保全の推進」を重要テーマの一つとして定め、地域とともに発展してきた企業グループとして、脱炭素社会の実現に向け、自らの事業活動のみならず、まち全体の環境負荷の低減を目指した取組を推進しています。2025年4月から阪急阪神全線の列車運行及び駅施設等で使用する全ての電力を実質的に再生可能エネルギー由来の電力とし、CO₂排出量ゼロで運行しています。ご利用いただくお客様に再生可能エネルギーを身近に感じていただくことで、脱炭素化への機運醸成や再生可能エネルギーの活用の後押しにも貢献していきたいと考えています。

■環境省「デコ活」とのタイアップ

阪急阪神全線カーボンニュートラル運行記念ラッピング列車内に、「デコ活」のポスターを掲出し、日々の暮らしの中での環境に対する心がけを周知しています。今回のワークショップも、環境省の協力のもと、官民が一体となって、公共交通の利用促進など脱炭素な暮らしの実現に向けた取組を推進していることをお客様に認知いただきたいと考えています。



■阪急阪神ホールディングスグループの「環境保全の推進」について

「ともに創ろう。澄みわたる未来と、心はずむ暮らしを」をスローガンに掲げ、サプライチェーンを超えた「社会全体の脱炭素化の推進」、緑化・自然保護による「地域の魅力向上」、廃棄物の削減・リサイクルの促進を通じた「環境負荷低減と付加価値向上の両立」をテーマに、環境に配慮した取組を推進していきます。

詳しくはホームページをご参照ください。

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/sustainability/materiality/environment/>



環境分野の取組のイメージ